

施策評価管理シート

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2022(令和4)年6月作成	
	基本施策	5	快適な生活環境づくり	担当部局(室)名	部局長名
	施策	4	上水道	上下水道部	山森 幹

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○「第2次名張市水道ビジョン」に基づき、水道水を安定的に供給するため、老朽化施設や老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図るなど、災害に強い水道施設を整備するほか、水質管理体制の充実により、安心して飲める良質な水道水を供給します。

2. 令和3年度 of 取組内容及びその成果



【管路更新】
 ・県道上野名張線や県道蔵持霧生線及び桔梗が丘、美旗中村、黒田の各地区に埋設されている老朽管を合わせて約7km更新し、耐震化を図りました。

【施設管理】
 ・水道水を安定的に供給するため、すずらん台系統の計装設備や青蓮寺ポンプ所の電気設備を更新しました。
 ・大屋戸浄水場の取水閉塞を監視する堆積センサーと水中ドローンを導入しました。
 ・厚生労働省が実施する「水道水質検査精度管理のための統一試料調査(水質検査結果の評価試験)」において、7年連続で「第1群機関」に評価され、水質管理体制を維持することができました。

【事業運営】
 ・中長期的な視点に立った経営の基本計画となる経営戦略を基に、財源確保方を検討し財政計画の更新を行いました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
上水道サービスに満足している市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	77.6	
	成果	75.1	79.3	78.6	77.6	77.1		80.0%
経年化設備率(%) (浄水場対象)	目標	-	-	-	-	-	11.5	
	成果	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5		0.0%
基幹管路における耐震管延長(m) (導水管・送水管・φ300mm以上配水管)	目標	-	-	-	-	-	10,500	
	成果	9,590	9,643	9,643	10,059	10,371		85.8%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



【管路更新】
 ・経年化による管路等の更新需要は今後さらに増大し、なかでも昭和55年に布設した管路は全体の12%を占め、間もなく更新時期を迎えようとしています。第2次名張市水道ビジョンではそのことを見据えて、年間に更新する管路を増加した計画としており、令和3年度では計画通り実施してまいりました。

【施設管理】
 ・水道統計による経年化設備率(浄水場対象)は、全国平均44%に対し12.5%ですが、将来の水需要に合わせた施設のダウンサイジングや機器の長寿命化に取り組む必要があります。また令和5年度以降、急激に経年化設備率が30%程度になることに加えて、機械・電気設備の修繕費が増加傾向になっています。
 ・異常気象の発生頻度の増加に伴うカビ臭対策と急激な河川水質変化に対応した浄水処理方法が必要です。

【事業運営】
 ・人口減少や節水技術の進展により水需要が減少し、料金収入が減少傾向にあり、原油価格・物価高騰等により水道事業を取り巻く環境は、ますます困難な状況になっています。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和4年度以降)



【管路更新】
 ・第2次名張市水道ビジョンに基づき、老朽化した管路施設の更新に計画的に取り組みます。令和4年度以降は、名張、桔梗が丘、美旗、黒田地区などの老朽管を耐震管に更新することにより、耐震化等災害に強い水道施設の整備を推進します。

【施設管理】
 ・富貴ヶ丘ポンプ所等の老朽化施設の更新整備に加えて、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策事業」により、災害対策として新たに桜ヶ丘取水所に自家発電設備を設置します。
 ・修繕費を平準化するために、適切な保守点検を実施し、「状態監視保全」を推進します。
 ・水安全計画の運用により、カビ臭物質及び異常気象による河川の濁りの低減を図り、上水道サービスの満足度の向上に努めます。

【事業運営】
 ・令和2年度に策定した名張市水道事業経営戦略を基に、今後増大していく施設更新費用の財源確保について、上下水道事業運営審議会の活用により検討を行い、持続可能な事業運営に取り組めます。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位:千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
公 営 企 業 会 計	水道事業会計	上下水道部	経営総務室	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業の運営 ・老朽施設、老朽管の更新・改良、耐震化工事等 <令和2年度繰越分> 資本的支出 471,532,600円 <令和3年度現年分> 収益的支出 1,842,525,619円 資本的支出 841,413,302円 【参考】 繰越額 448,007,000円	3,155,472	-	3,658,207